



# 広報

# みまた

## 58/10月号

発行  
昭和58年10月11日  
(第179号)  
宮崎県北諸県郡三股町  
編集 電話  
職員課 2~111



### 今月の主な行事

- 10月14日(金) 母子検診 (中央公民館)
- 19日(水) 健康相談と栄養改善教室  
(第4地区公民館)
- 20日(木) 健康教育講演会  
(第1地区公民館)
- 25日(火) 育児教室 (中央公民館)
- 31日(月) 健康相談と栄養改善教室  
(第3地区公民館)

### スポーツの秋

好天候に恵まれた10月2日町内の各小学校では運動会が開かれました。児童達はかけっこや団技、踊りなどに大ハッスル楽しい1日でした。

(写真は宮村小)

## 10月は体力づくり強調月間

# 長寿を祝い敬老会

九月十五日の「敬老の日」を中心に、多年にわたり社会に貢献してこられたお年寄りの長寿を祝う行事が各地で盛大に行われまして。

今年本町で六十五歳以上のお年寄りの方は二千六十九名（九月十五日現在）で、総人口（九月一日現在）の約十八％を占めており、この割合は昨年よ



第5地区敬老会

## 三股町長寿者ベスト10

		9月15日現在			
氏名	性別	生年月日	満年齢	地区	
野崎 重雄	男	明治7.5.28	99	山王原	*
神宮司 エン	女	20.4.29	96	*	*
有村 サキ	*	20.9.14	96	*	*
田實 スギヨ	*	20.11.28	95	下新	*
内村 ケイ	*	21.1.8	95	老人会	*
飯塚 宗右エ門	男	21.5.8	95	田上	*
大岩 根スマ	女	21.5.20	95	下新	*
福永 エダ	*	22.2.3	94	港	*
福重 アイノ	*	22.4.5	94	前田	*
小林 キサノ	*	22.7.4	94	田上	*

## 地区毎の65歳以上のお年寄り

		(9月15日現在)				
地区別	65-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳以上	計	
1	99	119	41	5	264	*
2	119	167	37	3	326	*
3	75	96	33	4	208	*
4	91	114	41	2	248	*
5	69	96	28	5	198	*
6	137	184	66	7	394	*
7	89	130	53	6	278	*
8	31	50	11	1	93	*
9	58	48	15	1	122	*
老人会	7	16	14	1	38	*
計	775	1,020	339	35	2,169	*



り二百二十名多くなっています。また九十歳以上のお年寄りの方は三十五名となっております。

### 各地域ごとに敬老行事

各地域の敬老会では、町長がお祝いのあいさつを述べた後、講演会（高齢者の生きがい）や小学生による作文の朗読などが行われました。

その後、保育園児や青年会員、婦人会による歌や踊りなどが披露され、お年寄りたちは楽しい敬老会のひとときを過ごしました。

一方では地区あげての敬老運動会も催され、子どもからお年寄りまでかけっこや団技に大ハッスル楽しい一日を過ごしました。



野崎重雄さん (99歳) 山王原

町内で最高齢者の野崎重雄さんを訪ねて、日常生活の様子をうかがっていただきました。

毎日の生活はどのように過ごされていますか。

朝八時頃に起床してテレビ（ニュース）を見たり、新聞を読んだりするのが日課です。煙草は五、六本、晩しやくは六酌位やっています。そして夜九時頃には床につきます。

御食べ物の好き嫌いはありますか。これと言って好き嫌いはなく家菜と同じ物を食べています。

御今までに病気をした事がありますか。

今までにこれといった病気をした事がありません。ですから病院とも縁がありません。

御長生きの秘けつは……。

私は、食事に胃腸が弱かったため、食事の時間をかけ少量も腹八分で暴飲暴食をしたことがなく、健康管理には十分注意してきました。とでしようか。

取材にも心行く応じていただきました。これからのご健康とご多幸をお祈りいたします。

御九十九歳とは思えない程お元気ですが体の具合はどうですか。

耳が少し遠くなった程度で体の方はいたって元気です。今でも身の周りのことは自分でやっています。

# 九月定例議会

一般会計補正予算など十議案を可決  
一般会計補正額九千三百八十七万七千円

昭和五十八年第六回町議会定例会は、去る九月十七日から二十八日までの十二日間にわたって開かれ、病院事業会計と水道事業会計の決算の認定及び、一般会計補正予算案など十議案を提案し原案どおり可決承認されました。

このほか議員四名による一般質問八件が行われました。

なお、可決承認された議案は次のとおりです。

- 一、昭和五十七年度町国民健康保険病院事業会計決算の認定について
- 二、昭和五十七年度町水道事業会計決算の認定について
- 三、昭和五十八年度町一般会計補正予算(第二号)
  - 地方交付税三千四百五十二万一千円、繰越金二千九百八十五万五千円、繰越金四百八十六万一千円のほか各事業等の歳入に伴い、転作促進定着化研修施設設置事業一千二百一十四万四千円、集団間伐生産基盤整備事業二百六十万円、失業対策事業費二百五十四万六千円、推八重公園整備事業等五百五十五万五千円、道路整備事業等二千七百六十六万八千円、消防施設整備事業等五百八十二万二千円、学校管理費九百七十七万五千円、農地災害復旧事業一千二百八十四万円のほか各関係事業費の補正を行い、九千三百八十七万七千円を追加し予算の総額は三十六億六千二百一十七万四千円となりました。
- 四、昭和五十八年度町老人保健特別会計補正予算(第二号)
  - 繰越金の歳入に伴い、昭和五

十七年度の老人医療費精算による返納金と一般会計繰出金、七百九十四万四千円を追加し、予算の総額を五億八千四百二十五万七千円としました。

### 五、町工業開発促進条例の一部を改正する条例

町内に製造工場を新設し、又は増設する場合にその建物や機械及び附属設備などに対する固定資産税の課税免除基準額一千二百万円を一千万円に引き上げると共に、今後更にこの制度を二年間（昭和六十年十月二十日まで）延長することとしたものです。

### 六、町立公園条例の一部を改正する条例

植木地区の植木小公園一号、二号、三号が町立公園として新たに追加されたものです。

### 七、町失業対策事業紹介対象者難職慰労金支給に関する条例

失業対策事業紹介対象者が資格を喪失し再就職する場所に就職支度金を支給していましたが、この就職支度金制度を廃止し、新たに難職慰労金支給制度を定めたものです。

### 八、集団間伐基盤整備事業分担金徴収条例

町が国及び県の補助を受けて施行する集団間伐基盤整備事業に要する経費に資するため、当該事業の施行により利益を受けると認められる山林及び耕地の所有者から分担金を徴収する条例が定められました。

### 九、町営土地改良事業の施行について

転作促進特別対策事業として明用、樋脇地区農道改良の施行について議決したものです。

### 十、字の区域の変更について

泉宮花ノ木川筋、高速自動車道関連土地改良事業（高城町・山之口町・三股町）の完了に伴って、大字桜木字小路川と大字富吉字下原田、中原田のそれぞれの字の一部を大字夢池字高柳に編入したものです。



行政相談週間

### 六つの基礎食品をそろえて 正しい食生活を送ろう

十月は「食生活改善普及運動月間」です

最近では、健康への関心が高まり、体力づくりが一種のブームというほど盛んになってきました。

また、体力の基となるわたしたちの食生活は、ひとところに比べて大きく改善されてきました。

しかしその一方で、四十〜五十歳の女性を例にとると、四人に一人が肥満の傾向にあり、四人に一人に貧血の症状がみられます。これらは、栄養の質と量の面でアンバランスな食生活が原因と考えられます。

例えば、多すぎる食事の量がエネルギーの取り過ぎを生み、余分な皮下脂肪として蓄えられて肥満になり、一方で、偏食による鉄分の不足が貧血の症状を招きます。今月は「食生活改善普及運動月間」です。成人病、肥満、貧血などを防ぐために、食卓に六つの基礎食品をそろえて、バランスのとれた栄養を心がけましょう。

### 6つの基礎食品

一日の食事に必ず6つを組み合わせましょう

食品の種類	食品の例示
1 魚、肉、卵、大豆	魚、貝、いか、たこ、かに、かまぼこ、ちくわなど 牛肉、豚肉、鳥肉、ハム、ソーセージなど 卵類、うずら卵など 大豆、とうふ、なっとう、豆腐、がんもどきなど
2 牛乳・乳製品 香りと食べられる魚	牛乳、スキムミルク、チーズ、ヨーグルトなど めざし、わかめ、しらすがしなど 注) わかめ、こんぶのりなど海藻を含む
3 緑黄色野菜	にんじん、ほうれん草、ごまなど、かぼちゃなど
4 その他の野菜 果	だいこん、はくさい、キャベツ、きゅうり、トマトなど みかん、りんご、なし、ぶどう、いちごなど
5 米、パン、めん いも	飯、パン、うどん、そば、スパゲティなど まっまいも、じゃがいも、さといもなど 注) 砂糖、菓子など糖質含量の多い食品を含む
6 油	てんぷら油、サラダ油、ラード、バター、マーガリンなど 注) マヨネーズ、ドレッシングなど多量に含有する

### 二学期から週三回の 米飯給食

学校給食は児童生徒の心身の健全な発達を助長し、かつ、これによって栄養の正しい知識を与え、更に、日常生活における食事についての理解と習慣を養うことを目的として実施されています。

本町では五十二年五月より米飯給食を週二回(パン食三回)で実施しておりましたが、二学期(九月)から米食を週三回、パン食二回で実施されるようになりました。



めしの盛りつけ状況

を配慮した米飯の食習慣を養い、あわせて国の食糧事情を考慮した食生活を理解していただくため、米飯給食を週三回を目標として推進してきたところです。

これに伴い米飯委託業者も従来の施設から米飯機(ライスフレンド)やめしの盛りつけ機(ライスモール)などを自動化に改善され、現在では児童生徒と教職員あわせて約二千八百五十人分を約三時間たらずで出来るようになりました。

一方、味の方でも児童生徒達の間では好評で美味しさと食べていました。

### 空き巣や乗り物盗を防止しよう 全国防犯運動10月11日~20日

侵入盗による被害防止に重点を置いた「全国防犯運動」が十月十一日から二十日までの十日間、全国一斉に行われます。

最近、町内でも「空き巣わらい」の被害や「車上あらし」の乗り物の盗難が多発しています。

そこで、次のことに留意して、空き巣や乗り物盗などの被害にからないようにしたいものです。

- ちよつと外出するときでも必ず戸締りをし、お隣りにひと声をかけましょう。
- 長期間留守にする時は、新聞、牛乳などの配達を一時止めるなど、留守とわからせないようにしましょう。



### 交差点が最も危ない

二輪車の事故防止

二輪車の交通事故で六〇パーセント以上は交差点やその付近で発生しています。また、二輪車は不安定な乗物で四輪車からは見えにくい存在です。交差点を通過するときにはスピードを落とし、他の車や歩行者の動きに気を付けましょう。

### いつでも止まれる 速度で走ろう

交差点での二輪車の死亡事故は、出合頭と右折時で六七パーセントを占めています。信号機のない交差点では一時停止の標識に従い確実に停止して左右の安全を確認しましょう。また、標識がなくてもいつでも止まれる速度で除行しましょう。

### 青色申告で正しい記帳を

毎日の取引を正確に記帳し、節税と経営の合理化を図りましょう。一定の帳簿を備えて、毎日の取引を正しく記帳し、正確な所得や税額を計算して申告する人は、所得の計算上いろいろの特典が受けられます。これを青色申告制度といいます。現在では、商売をしている人の半分以上の人が青色申告をしています。

帳簿のつけ方や決算の仕方などについて分からないときは、お気軽に



軽に税務署か税務相談室へお尋ねください。

また、商工会議所や市町村の商工会、税理士会なども記帳の指導をしています。

都城税務署  
電話 都城(0986)314277

### がん死亡17万人を超す

厚生省発表の昭和五十七年度人口動態統計により、結婚四十秒に一組、出生二十一秒に一人、離婚百九十二秒に一組、死亡四十四秒に一人となっています。その死因については死亡数七十一万一千九百二十七人で昭和五十六年に比べ八千三百三十五人の減、死因のトップは前年の脳卒中を抜いて一位ががん、人となり前年より三万六千九百八人も増えています。

部位別には胃、肺、肝、膵、直腸の順ですが集団検診が行われている胃、乳房、子宮がんは減少しており肝、肺、膵

がんの増加が目立っています。本年度よりわが国でも癌対策として厚生省を中心に総ゆる第一線の専門家を動員して研究チームをつくり取りくむことが制度化されました。癌の撲滅も数年後には可能とする学者も少なくない。然し現在の医学では早期診断、早期治療が原則なので集検は年に一回は必ず受診し症状が疑わしい場合は一日も早く専門医を受診すべきです。今後高齢化が進むにつれ健康に老いるためには自分の健康は自分で守ることを常に心掛けることが必要である。

### 健康教室

県商工会ソフトボール大会で優勝

町商工会青年部

県商工会連合会青年部主催による第14回ソフトボール大会は去る9月5日県総合運動公園を中心に開かれ本町の商工会青年部が優勝しました。

本町の商工会青年部は都城地区を代表し、県内各地区の予選を勝ち抜いた13チームが勢ぞろい。試合は4パートに分けられトーナメントで行われ、本町の青年部は他地区の強豪を相手に順調に勝ち進み、決勝戦では生目地区と対戦し5対3で生目地区を下して優勝し九州大会の出場権を獲得しました。尚、九州大会は10月22日、23日高千穂町で開催されます。健闘を祈りましょう。



テレビ難視聴地域を整備

町ではNHKテレビジョン難視聴地域の整備を要望し、54年度から4ヶ年で取り組んできましたが、今年度中野地区(38戸)を最後に事業が終了しました。

これはNHK事業の推進によりNHK宮崎放送が入らない地域を対象に行われていたもので、これまでに森木、高畑、前目地域で158戸が整備されました。

この事業の施行により難視聴の解消が図られ、地域住民大変喜んでおられます。

手造り菓子が長寿を祝う 第5地区婦人会

町婦人連協長の臼井ミツさん

第5地区の婦人会(代表森木ミツ)では、手造り菓子が長寿をお祝いしようと老人の日の前日、森木・大野集落センターで菓子づくりを行いました。

菓子づくりは両センターで朝から行われエプロン姿の婦人会員が分担をきめ約160個の菓子をつくりました。敬老会ではお菓子のプレゼントに大変喜んでおられました。

町婦人連協長臼井ミツさんは、90歳以上のお年寄り35名に、手造りの菓子を贈り、「いつまでもお元気で長生きして下さい」と激励され、お年寄りの方も喜んでお礼を述べられています。

市内は臼井ミツさん



G・C(グランドチャンピオン)に森 正伸さん

種豚品評会

夏季種豚品評会は、先程畜産センターで開催されました。尚、審査の結果は次のとおり(優等のみ)

メスの部

福門 昇(蓼池) 南 正次(田上) 山中幸治(蓼池)  
内田幸治(蓼池) 大塚 節(蓼池) 高橋敏美(前目)  
崎田家春(田上)

オスの部

森 正伸 1席~3席まで(蓼池) 上原幸雄(上米)



話 題

交通安全炬火リレーで安全運転を呼びかけ

9月21日から30日までの10日間「秋の全国交通安全運動」が行われ、これにちなんで21日(初日)交通安全の炬火が町内をリレーされ安全運転を呼びかけました。炬火は午前九時に山之口町より蓼池の前村ドライブイン前で引継がれ、勝岡を経由して役場に午前9時50分到着、役場玄関前で交通安全声明文を町長が読みあげ、住民1人ひとりの交通安全意識を高め正しい交通ルールを守ろうと披瀝しました。その後植木日曜大工センター前まで炬火をリレーし都城市に引継ぎました。



生命の貯蓄体操で健康づくり 第4地区中年婦人部

最近、生活文化が向上し職場は機械化、家庭は電化と人があまり体を使わず楽をして生活できるようになり、一方、食べ物も豊富で偏食などから成人病や肥満が増加する傾向にあります。

そのため第4地区の中年婦人部では、健康づくりのため昨年からの生命の貯蓄体操を続けられ、現在では肩こりや腰痛、便秘などが治り、大変喜んでおられます。尚、町内には1地区、7地区の婦人部もこの体操を続けられ健康づくりに励んでおられます。

水稻の収穫期を前にもみすり機を点検

町内15箇所のもみすり乾燥場では、水稻の収穫期を前に去る9月14日もみすり機の点検が行われました。

これはもみから乾燥、玄米までのもみすり工程を点検するもので、もみすり機の善し悪しで出荷米の等級(1~3)に影響するため、もみすり検査員の立ち会いにより厳密な点検が行われました。

今年には水稻の出来もよく、もみすりも今月から始まり年内には(48,934俵)殆ど出荷されることでしょう。



バレーボール大会で親睦を深める

都城農協婦人部若妻会

農協婦人部の若妻会では、去る9月7日武道体育館を中心に第2回のバレーボール大会を開きました。

若妻会は農業後継者を中心として農業生産向上や生活改善、婦人の資質向上のため研修会などを行っています。

今回はバレーボールを通じて会員の健康保持と親睦を深める目的で開かれたもので、各支所の代表14チームが参加。試合は4パートに分けてリクリーグと決勝トーナメントで行われ、どのパートも熱戦が繰り広げられました。尚、成績は次のとおり  
1位、山之口支部、2位、祝吉支部、3位、庄内支部

# おしらせ



## 共同募金運動

やさしさを隣人に

みんなの胸に赤い羽根

十月一日〜十二月三十一日

十月一日から、赤い羽根の共同募金運動が始まります。たすけあいの心——お互いに困ったときはたすけあい、住みよい地域社会をつくるための活動に連れて参加しよう——という一人ひとりのやさしさと、たすけあいの心を表したものが、赤い羽根です。

この共同募金運動も今年で三十七回目を迎えます。その間に寄せられた善意のお金は老人福祉、心身障害者福祉、児童福祉、地域福祉などのいろいろな社会福祉事業や更生保護事業を進めるために役立てられています。皆さんの善意を町共同募金分会へお寄せください。

事務局は老人福祉センター内の社会福祉協議会  
電話 二一―二二四六

## 産業まつり

県では置県百年を記念して、次のとおり産業まつりを開催いたします。多数ご参加下さい。

開催日 十月二十八日(金)〜三十日(日)

時間 午前十時〜午後四時

場所 県体育館、市総合体育館及びその周辺

道路は正しく利用しましょう

最近、農作業での取草やイタリアンなどを道路に持ち出され放置されている方があります。交通に支障をきたすばかりでなく側溝などに落ち込み排水を悪くする原因になっています。

お互いに道路はきれいに美しく利用しましょう。



都市緑化月間  
10月1日〜31日

## 新刊図書紹介

次の新刊図書を購入しました。

多数ご利用ください。

おしん(NHKテレビシナリオ)

ほか三十冊

## 恐しい覚せい剤の追放に「協力」を

恐しい白い粉「覚せい剤」が一般住民、とりわけ青少年層や主婦層の間にまで広がっております。

また、覚せい剤の影響の下での凶悪な犯罪や悲惨な事故が多く発生しております。

覚せい剤は危険な薬物であり、個人だけでなく社会全体にも計り知れない害悪をもたらす薬物です。

しかし、この覚せい剤の弊害を除去するためには、皆さんのご協力が是非とも必要です。

覚せい剤の追放に「ご協力下さい。家庭の省エネルギー対策について

テレビを見ない時は

差し込みを抜きましょう

スイッチを入れると画面がすぐ飛び出す瞬間受像式のテレビは、常にブラウン管をあたたためておくため四〜六ワットの電力が消費されています。見ない時は、コンセントからコードを抜いておきましょう。

## 10月の納税 県民税 町税 保険料 第3期分

11月は固定資産税  
第3期分の納月です

よう。年間一世帯当り一―二の石油節約に相当します。

## 必ず入る「バイクの自賠責保険

「小さくて手軽に乗れる」という便利さから、バイクの利用者が毎年増えています。

最近では、そのファッション性が受けて女性にも広く利用されています。しかし、利用者が増えるにつれて、バイクにかかわる交通事故も増加しています。

小さなバイクだからといって、事故が小さいとは限りません。人身事故もたくさん起きています。そこで、万一、人身事故を起こした場合に損害賠償がスムーズにできるように、バイクも普通の自動車と同じように自賠責保険、共済への加入が義務付けられています。ところがバイクの購入時は契約してもその後の継続契約を忘れがちです。必ず加入または継続契約をしましょう。

## 三股町の人口

昭和58年10月1日現在

人口18,469人 出生34人  
男 8,767人 死亡 8人  
女 9,702人 転入72人  
転出50人

世帯数 5,691戸  
前月比+48人